

総合戦略政策評価シート（平成28年度実績）

基本目標	二宮町で安心して働き、仕事を生み出しやすい環境をつくる
基本的方向	<p>町が将来にわたって地域の活力を維持し、持続可能なまちづくりを展開するためには、町内に新たな産業と雇用を生み出し、ヒト・モノ・カネを循環させることによって、町内経済を好転させ、人々が安心して生活を営むことができるまちをつくることが求められています。</p> <p>二宮町人口ビジョンを実現するために、きめ細やかな対応によって身近な地域で働きたい人々の希望を叶える起業・雇用環境をつくることで、「誰もが生涯現役」となる環境をつくることを第4の基本目標とします。</p> <p>ベッドタウンである本町にとっては、日常生活に必要な小売業や医療・福祉サービスといった生活に密着した産業の集積が大きな課題です。そのため、既存産業に対する就業支援等を行うとともに、町の資源を活用した新たな産業の可能性についての検討や空き家・空き店舗と創業希望者とのマッチング支援等、新たな取り組み、起業・就業機会の拡大を促進します。</p>

数値目標

指標名	実績の推移				目標値	備考
	計画策定時	H28	H29	H30		
二宮町民の就業者割合	54.3%	-			56.5%	

総合評価	<input type="checkbox"/>	1：国が示す政策5原則（自立性、将来性、地域性、直接性、結果重視）に基づく基本目標として良好であるため、引き続き達成に向けて推進する
	<input checked="" type="checkbox"/>	2：基本目標の達成に向けた進捗状況は順調であるが、さらなる推進のためには、一部、施策を改善する必要がある
	<input type="checkbox"/>	3：基本目標の達成状況を検証する数値目標を見直す必要がある
	説明	<p>基本目標「二宮町で安心して働き、仕事を生み出しやすい環境をつくる」を達成するために設定した3本の施策のうち、2つは概ね順調に進行しているが、1つは見直しが必要である。</p> <p>安心して働き、仕事を生み出しやすい環境をつくるためには、事業者に対し、総合的な支援策を継続するとともに、地域資源を活かし、新たな事業機会を生み出しやすい環境を整備することにより、地域経済全体の持続的な発展を図ることが必要である。併せて、働く意欲のある人の就業や起業を支援することにより、誰もが自分の知識や経験を活かしながら、社会の担い手として活躍できる環境整備も不可欠である。</p> <p>そのためには、今後、官民連携の一層の強化等、より実効性のある支援とするための見直しを行うとともに、地域特性や地域資源等と地域のニーズとのマッチングを推進することで、この町のポテンシャルを最大限引き出し、それを活用しながら、基本目標の達成に向け、取り組みを推進する。</p>

外部評価 [二宮町総合戦略評価委員会]

<input type="checkbox"/>	1：国が示す政策5原則（自立性、将来性、地域性、直接性、結果重視）に基づく基本目標として良好であるため、引き続き達成に向けて推進する
<input checked="" type="checkbox"/>	2：基本目標の達成に向けた進捗状況は順調であるが、さらなる推進のためには、一部、施策を改善する必要がある
<input type="checkbox"/>	3：基本目標の達成状況を検証する数値目標を見直す必要がある
意見等	<p>基本目標「二宮町で安心して働き、仕事を生み出しやすい環境をつくる」については、目標達成に向けた進捗状況は順調であるが、さらなる推進のためには、一部、施策を改善する必要があると考える。</p> <p>人口減少社会においても、活力にあふれ、持続可能な地域社会を実現するためには、若者や子育て世代が希望を持って働き、暮らせることが重要であることから、地域における新たな雇用の創出や起業しやすい環境の整備が必要である。</p> <p>そのために、町は、既存事業者に対する総合的な支援に加え、地域資源を活用した創業や新規事業の展開、就農者の維持・確保や就農後の生産・経営の安定について、現場の声やニーズを踏まえ、必要に応じて見直した上で、支援策を展開する必要がある。併せて、人が集まり交流する場や機会の創出、自治体の枠を超えた連携の検討等により、この町に関わるさまざまな人や組織を繋ぐことで、多様なイノベーションを生み出し、それが新たな人をこの町に呼び込む原動力となることが期待される。</p> <p>なお、KPI「エネルギー・温暖化対策に関する計画」については、二宮町地球温暖化対策実行計画の区域施策編の策定を先延ばしにするのではなく、目標である31年度までに実現すべく、引き続きその取り組みを強力に進めるべきである。</p> <p>こうした取り組みを一体的に推進することにより、誰もが安心して定住し、働ける環境の実現に繋がると考える。</p>

町の最終方針 [庁内評価委員会]

方向性

基本目標「二宮町で安心して働き、仕事を生み出しやすい環境をつくる」は、外部評価を踏まえ、目標達成に向け、さらなる施策の展開を図る。

今後は、既存の支援制度を利用者の視点に立った見直しにより、ニーズに応える支援策とするとともに、民間の力を積極的に活用することにより、より一層、実効性のある支援策を展開する。

また、従来の産業関連部局による画一的な産業振興施策の推進のみならず、現場の声やニーズを行政全体で共有することにより、事業本来の効果に加えて、地域産業の新陳代謝を高め、地域資源の新たな価値の創出やビジネスに繋げる視点を持った施策の展開に努める。

併せて、町内の人材や従来の手法のみならず、町外も含めた、多様な主体が地域社会に参画・連携することにより、さまざまな知恵と工夫を通じて取り組みの選択肢が広がり、地域資源の潜在的な価値の発見や新たな力の創出に繋がることから、自治体の枠を超えた連携も含め、町内外から人や組織が集まり、交流を促進する場づくりを検討する。

施策「町の環境を活かした再生可能エネルギーの地産地消等の可能性検討」については、二宮町地球温暖化対策実行計画(区域施策編)の策定に限定せず、再生可能エネルギーの活用に向けた町民団体や民間事業者に対する支援の手法について検討を進める施策へと見直した上で、基本目標の達成に向け、着実に推進する。

こうした取り組みを力強く推進することにより、数値目標である「二宮町民の就業者割合」を上昇させ、「二宮町人口ビジョン」の実現を目指す。